

# 防災分野

## 研究領域

「持続可能な社会を支える防災・減災に関する研究」

採択年度	2016年	研究期間	5年間
研究課題名	フィリピンにおける極端気象の監視・情報提供システムの開発		
研究代表機関	北海道大学 大学院理学研究院		
相手国	フィリピン共和国	主要相手国 研究機関	フィリピン先端科学技術研究所 (ASTI/DOST)
<b>研究課題の概要</b>			
<p>本研究は、雷放電計測と超小型衛星を用いた稠密積乱雲観測システムにより、人命や社会活動に対する極端気象による被害を軽減することを目的とする。具体的には、フィリピン全土に雷放電電波受信機を、またマニラ首都圏に鉛直電場計測器と気象観測計器を組み合わせた稠密観測ステーションを設置し、全国および東南アジア全域の積乱雲および台風の活動動向と、マニラ首都圏上空の積乱雲発達状況を、リアルタイムで把握するシステムを構築する。同時に、超小型衛星のオンデマンド運用で得られる雲の画像を解析し、雲の立体細密構造を把握する手法を開発する。さらに、地上からの積乱雲観測と衛星による雲の観測データを統合することで、局所的な豪雨にかかるナウキャスト(防災気象情報)を可能にする技術を開発し、それに基づく警報システムの開発を目指す。</p>			